

1500以上の訪問看護ステーションに
ご利用いただいております

エスキュー S-QUE訪問看護 eラーニング

充実のラインナップ

法定研修はもちろん
約**700**講義
を受講可能

今だけ！
法定研修ガイドブック付き



ID 無制限

1事業所あたり何名でも
助成金活用で実質
月額**4,400**円(税込)〜
で受講可能！

進化した管理機能

全職員の
研修受講状況を
一元管理

2026年8月1日システムリニューアル
受講が驚くほどカンタンに！



TOPICS

NEW

精神看護領域プログラム追加！

監修の田端講師、田邊講師からのメッセージはこちら▶



期間限定

2026年9月まで

ご契約いただくと
「法定研修のガイドブック」をプレゼント！

S-QUE 訪問看護研修 3つの強み

おまかせ Point1

法定研修（義務化研修）と報酬改定研修を詳細に解説

令和6年度よりスタートになった法定研修(義務化研修)と介護・診療報酬改定の内容を詳細に解説しました。研修担当、委員会担当になった方用に動画も用意していますので、ご受講ください！

※法定研修（義務化研修）に関しては研修を事業所内で行っていないと減算または、指導対象になります。

法定研修は P6 へ、報酬改定研修は P10 へ

おまかせ Point2

研修計画シート（Excel ファイル）をダウンロード可能

職員毎の研修計画はもちろん！項目をカスタマイズして受講管理にもご利用いただけます。サービス提供体制強化加算や助成金申請時にもご活用いただけます。

S-QUE訪問看護 研修計画シート

○配信開始日：2026年8月1日
※人材開発支援助成金では「義務化研修」「情報公表制度対応研修」は対象外です。

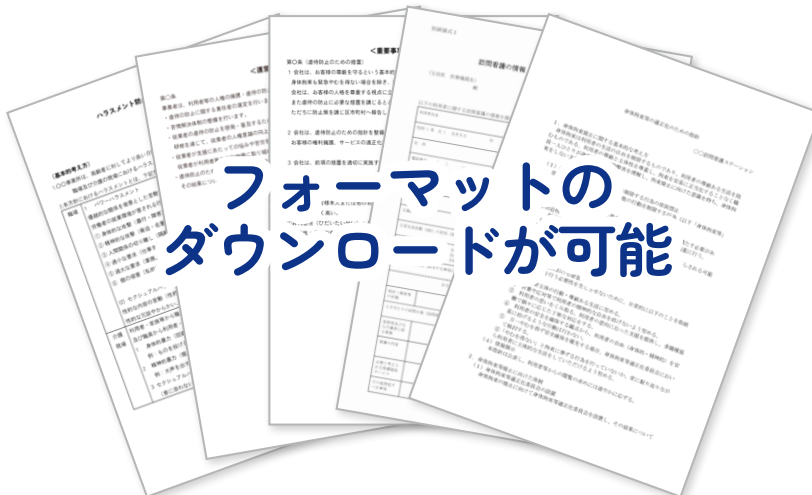
コース	大カテゴリ	中カテゴリ	番号	プログラム名	時間	受講予定日	受講記録記載日	責任者確認日	メモ
法定研修			1	高齢者虐待防止 減算対象！	NEW				
			2	感染症研修、食中毒予防、まん延防止	NEW				
			3	暴力・ハラスメント	NEW				
			4	BCP（事業継続計画）災害	NEW				
			5	BCP（事業継続計画）感染症	NEW				
			6	医療安全	NEW				
情報公表とは	情報公表とは	記載方法	1	情報公表とは	8:25				
			2	情報公表の記載方法 基本情報編	16:45				
			3	情報公表の記載方法 運営情報編（サービス内容）～立ち合いを踏まえて～	26:45				
			4	情報公表の記載方法 運営情報編（運営状況）～立ち合いを踏まえて～	15:19				
			5	認知症及び認知症ケアに関する研修	33:51				

研修計画シートのイメージ

おまかせ Point3

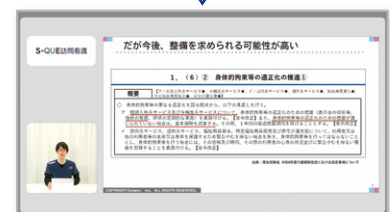
訪問看護で必要な様式集を解説付きでご用意

「Word & Excel」のフォーマットを使用すれば事業所内でご自由にカスタマイズできます！



フォーマットのダウンロードが可能

記載例の動画解説あり



様式集は P22/P23 へ

総合監修

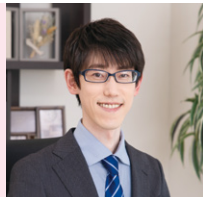


出口 貴大

のぞみ医療株式会社 取締役 CSO/ 看護師・保健師
株式会社 FOOTAGE 取締役 / 相談役

【経歴】

- 2017年 - 2020年 東京の大手訪問看護ステーションに管理者として常勤勤務
- 2021年 1月 のぞみ医療株式会社 取締役に就任
- 2022年 4月 S-QUE 訪問看護チーフプランナー就任



佐藤 文俊

EMPAWA 株式会社 代表取締役
看護学修士 / 診療看護師

【経歴】

- 2013年 4月 新潟大学医歯学総合病院第一内科（循内・血内・代謝内分泌）
- 2014年 10月 ケアプロ訪問看護ステーション東京へ転職
- 2017年 4月 中野ステーションの副所長へ就任
- 2020年 4月 大学院を卒業 診療看護師（NP）資格を取得
- 2025年 4月 S-QUE 訪問看護チーフプランナー就任

医師 / 専門家

大藪 直史	日本クレアス税理士法人 上田公認会計士事務所 介護経営コンサルタント
五島 朋幸	ふれあい歯科 ごとう代表
高山 かおる	済生会川口総合病院 皮膚科 主任部長 一般社団法人 足育研究会 代表理事
高瀬 義昌	医療法人社団至高会たかせクリニック 理事長 日本老年精神医学会専門医 / 認知症サポート医 日本プライマリ・ケア連合学会認定医
辻川 知之	地方独立行政法人公立甲賀病院 理事長 公立甲賀病院 院長
露木 菜緒	ヴェクソンインターナショナル株式会社 集中ケア認定看護師
中村 智広	フェアネス法律事務所 弁護士 / 薬剤師
道又 元裕	元・杏林大学医学部附属病院 看護部長 ヴェクソンインターナショナル株式会社

清水 奈穂美	佛敎大学保健医療技術学部看護学科 在宅看護学 准教授 在宅看護専門看護師
高取 幸恵	医療法人社団ゆみの ゆみの訪問看護ステーション 訪問看護事業部 部長
田端 恭兵	株式会社 FOOTAGE 管理支援者 / 精神看護専門看護師
田邊 友也	訪問看護ステーションいしづえ 代表理事 / 精神科認定看護師 / 精神看護専門看護師
中村 剛士	西大須 伊藤内科・血液内科 / 家族支援専門看護師
馬場 愛子	株式会社フレアス / 在宅看護専門看護師
樋口 翔	株式会社 SIMcover でいご訪問看護リハビリステーション 管理者
房原 篤志	株式会社 fit 代表取締役・看護師・認知症ケア専門士
藤平 舞	Nurse Wocry 代表 / 皮膚・排泄ケア特定認定看護師
松村 麻衣子	大阪信愛学院大学 看護学部 講師 大学教員 修士（看護学）/ 精神看護専門看護師 / 保健師 / 公認心理師
南 敦司	特定非営利活動法人カンフォータブル・ケア普及協会 代表理事
宮田 知子	株式会社ひかり 代表取締役 / 看護師 ひかり訪問看護ステーション 管理者
宮澤 拓也	株式会社 FOOTAGE 取締役 / 看護師
柳澤 優子	一般社団法人 Life&Com 代表理事
山口 雄太	株式会社 FOOTAGE 取締役 / 看護師
渡邊 恭祐	訪問看護ステーション信緑 代表取締役 / 精神科認定看護師

専門看護師 / 認定看護師 他

朝倉 之基	Nurse Innovation 株式会社 / 代表取締役 / 栄養治療専門療法士
安藤 優祐	株式会社 FOOTAGE 名古屋地区エリアサポーター 看護師
伊東 佳洋	株式会社 FOOTAGE / 小児看護専門看護師
大串 優太	株式会社 FOOTAGE 代表取締役
大森 泉	クローバースマイル訪問看護ステーション / 慢性疾患看護専門看護師
小倉 遊	ケアプロ訪問看護ステーション東京 中野ステーション 看護師 / チームリーダー
鬼村 忠	株式会社 SIMcover でいご訪問看護リハビリステーション 取締役
桐山 啓一郎	公立大学法人名古屋国立大学 看護学研究科 准教授 / 精神看護専門看護師

S-QUE訪問看護 eラーニング コース説明

S-QUE 訪問看護 eラーニングは、訪問看護ステーションで働くスタッフの学びを支えるオンライン研修です。法定研修や入職時研修、新人研修をはじめ、認知症・小児・緩和ケア・皮膚排泄ケアなどの領域別研修、精神科訪問看護、管理者研修、運営指導対策まで、訪問看護の現場に必要な内容を幅広くそろえています。忙しい日々の中でも、スタッフ一人ひとりが自分のペースで学び、ステーション全体の教育体制づくりに活用できる内容です。

コース名	コース説明
法定研修 (旧義務化)	訪問看護ステーションの運営に必要な法定研修を学ぶコースです。感染対策、虐待防止、身体拘束、ハラスメント、BCP など、事業所として必ず押さえておきたい内容を確認できます。
情報公表	事業所情報の公表に関する内容を学ぶコースです。公表項目の確認や更新時の注意点を理解し、事業所として適切な情報管理につなげます。
入職時研修 (3 か月以内)	入職後まもないスタッフが、訪問看護の基本を学ぶためのコースです。病院との違いや、利用者・家族との関わり方、訪問看護師として大切にしたい姿勢を身につけます。
新人研修 (3 か月～1 年以内)	訪問看護に少しずつ慣れてきた新人スタッフが、実践力を高めていくためのコースです。観察、報告、記録、多職種連携など、日々の訪問に必要な力を段階的に学びます。
ひとりのできるもん (在宅実践講義)	訪問看護では、訪問先で一人で判断し、対応しなければならない場面が多くあります。本コースでは、利用者の状態変化への気づきや緊急時の対応、家族との関わりなど、実際の訪問場面を意識しながら学びます。※リアルな現場感を大切に、すぐに実践につなげられる内容です。
制度 (加算)	訪問看護に関わる制度や加算について学ぶコースです。加算の算定要件や必要な記録、体制整備のポイントを理解し、適切な事業所運営につなげます。
在宅看護技術 (金城学院大学監修)	在宅看護に必要な基本技術を学ぶコースです。療養環境に合わせた看護技術や、安全にケアを行うための視点を、大学監修の内容で体系的に学べます。
領域別：認知症	認知症のある利用者への関わり方を学ぶコースです。症状の理解、BPSD への対応、家族支援、生活環境の工夫など、在宅での認知症ケアに必要な知識を身につけます。
領域別：小児	小児訪問看護に必要な基礎を学ぶコースです。医療的ケア児への支援、成長発達の視点、家族への関わり、多職種との連携など、小児在宅ケアの実践に役立つ内容です。
領域別：緩和ケア・ターミナル	在宅で最期まで支えるための緩和ケア・ターミナルケアを学ぶコースです。症状緩和、意思決定支援、家族への支援、看取りの場面での関わり方を学びます。
領域別：皮膚・排泄ケア	褥瘡、創傷、ストーマ、排泄ケアなど、訪問看護で関わる機会が多いケアを学ぶコースです。観察のポイントや予防、ケアの方法、医師への報告の視点を整理できます。
領域別：難病ケア	難病のある利用者を在宅で支えるためのコースです。疾患の進行に応じた支援、呼吸・栄養・コミュニケーションへの対応、家族支援や制度活用について学びます。
領域別：家族看護	利用者本人だけでなく、家族も含めて支える視点を学ぶコースです。介護負担、家族関係、意思決定、看取り期の支援など、訪問看護に欠かせない家族支援を学びます。
領域別：糖尿病	糖尿病をもつ利用者への在宅支援を学ぶコースです。血糖管理、食事・運動・服薬支援、フットケア、低血糖時の対応など、生活に寄り添った看護を学びます。
領域別：急性期	在宅で起こる急な状態変化への対応を学ぶコースです。観察、アセスメント、緊急時の判断、医師や救急との連携など、訪問看護師に求められる初期対応力を高めます。
領域別：臨床推論	利用者の症状や変化から原因を考え、必要な対応につなげるためのコースです。訪問先での判断力や報告力を高め、医師との連携にも役立つ考え方を学びます。
領域別：栄養	在宅療養者の栄養状態を支えるためのコースです。低栄養、嚥下、経管栄養、食支援、家族への助言など、生活を支える栄養ケアの視点を学びます。
領域別：その他	心不全、COPD、脳卒中、腎疾患、肝疾患など、在宅で関わることの多い疾患への対応を学ぶコースです。病態の理解、観察のポイント、再入院予防につながる支援を学びます。
医療機器	在宅で使用される医療機器の管理と安全な取り扱いを学ぶコースです。在宅酸素、人工呼吸器、吸引、輸液ポンプなど、医療依存度の高い利用者への対応力を高めます。
福祉用具	在宅療養を支える福祉用具について学ぶコースです。ベッド、車いす、手すり、歩行補助具などの活用方法を理解し、安全で暮らしやすい療養環境づくりに役立ちます。
精神科：開設	これから精神科訪問看護を開設したい方向けの内容です。レベルの目安は、制度や開設に必要な要件、体制づくりです。
精神科：初学者	精神科の経験がない方、学び直したい方向けの内容です。レベルの目安は、基本的な技術や疾患の理解、アセスメント方法です。
精神科：熟練者	精神科経験がある方で、より発展させたい方向けの内容です。レベルの目安は、精神科の技術や対応、理解を深める内容です。
管理者：マネジメント	訪問看護ステーションの管理者に必要な組織運営を学ぶ内容です。人材育成、労務管理、チームづくり、リスク管理など、スタッフが安心して働ける職場づくりに役立ちます。
管理者：経営学	ステーション経営に必要な視点を学ぶ内容です。収支管理、加算の活用、事業計画、営業活動、地域連携など、安定した事業運営に必要な知識を学びます。
運営指導	行政による運営指導に備えるためのコースです。書類整備、記録、契約、重要事項説明、加算要件など、日頃から確認しておきたい運営上のポイントを学びます。
様式集	訪問看護ステーションの運営に必要な各種様式を確認できるコースです。契約書、同意書、記録、研修記録、チェックリストなど、日々の実務に活用できます。
特別研修	専門家や著名な講師による特別講義を学べるコースです。通常の研修だけでは学びにくいテーマや、今の現場に必要な実践的な知見を取り入れることができます。
ラダー 1 (S-QUE オリジナル)	新人・訪問看護未経験者 訪問看護の基本を理解する
ラダー 2 (S-QUE オリジナル)	基本業務を一人で行う職員 安定した訪問看護実践を身につける
ラダー 3 (S-QUE オリジナル)	中堅職員 判断力を高め、個性のある看護を展開する
ラダー 4 (S-QUE オリジナル)	リーダー・指導的立場の職員 チームの中心として指導・改善に関わる
ラダー 5 (S-QUE オリジナル)	専門性の高い職員 組織全体の質向上に貢献する
ラダー管理者 (S-QUE オリジナル)	管理者・管理者候補 ステーション運営と人材育成を学ぶ

※研修内容は予告なく変更になる場合があります。

法定研修（旧義務化） **NEW**

約 2 時間程度で介護報酬改定にて法定研修に定められた内容がクリアできます！
講義は毎年フレッシュな内容でお届け！（毎年研修内容が新しい講義に更新します）1 本 15 分程度

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	法定研修	高齢者虐待防止 減算対象！	佐藤 文俊 氏	NEW
2		感染症研修、食中毒予防、まん延防止		NEW
3		暴力・ハラスメント		NEW
4		BCP(事業継続計画) 災害		NEW
5		BCP(事業継続計画) 感染症		NEW
6		医療安全		NEW

情報公表

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	情報公表とは	情報公表とは	出口 貴大 氏	08:25
2	記載方法	情報公表の記載方法 基本情報編		16:45
3		情報公表の記載方法 運営情報編（サービス内容）～立ち合いを踏まえて～		26:45
4		情報公表の記載方法 運営情報編（運営状況）～立ち合いを踏まえて～		15:19
5		認知症及び認知症ケアに関する研修		33:51
6	情報公表の必須研修	プライバシーの保護の取り組みに関する研修		17:42
7		訪問看護ステーションにおける職業倫理と法令遵守		20:11
8		事故発生又は再発防止に関する研修		17:58
9		緊急時の対応に関する研修		23:31
10		感染症及び食中毒の予防・まん延の防止に関する研修		18:46
11		身体拘束等適正化のための研修	佐藤 文俊 氏	NEW

入職時研修（3か月以内）

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	交通ルール	自動車、原付、バイク	佐藤 文俊 氏	NEW
2		自転車		NEW
3	介護保険、医療保険の制度	訪問看護師が押さえておくべき介護保険・医療保険の制度 (報酬と提供の違い)		NEW
4		訪問看護師が押さえておくべき介護保険・医療保険の制度 (対象者理解と見分け方)		NEW
5	社会人として役割、責任	3つの心構え、生活リズム、関わる人	出口 貴大 氏	12:43
6		役割と責任、学び方		9:24
7		チームとして動く		10:07
8	社会人としての 基本意識と基本行動	～基本意識編～ 仕事の進め方入門		20:13
9		～基本意識編 1～ ビジネスマナー		17:57
10		～基本意識編 2～ 報連相		8:31
11	訪問看護にまつわる 制度・書類を理解する	訪問看護師が取り扱う書類 ～外部から頂くもの：ケアプラン、指示書類～		31:47
12		訪問看護師が取り扱う書類 ～事業所で作成するもの：計画書、報告書類～		20:54
13		訪問看護師が知っておきたい公費の考え方と取り扱い		27:14
14	個人情報保護の知識を身につけ 現場で実践する	個人情報保護の基礎知識		8:34
15		個人情報の取り扱いに関する実務		11:55
16		訪問看護事業所内での具体的取組		14:52
17	訪問看護基礎	訪問看護師としての心構えと実際		16:35
18		訪問看護とは		10:17
19		訪問看護の流れ（依頼からケアの実施、報告までの流れ）		11:53
20		苦情対応		10:20
21		クレーム対応		24:39
22		事故対応		13:15
23		内服管理のための環境整備		18:06
24		利用者と家族への関わり方・向き合い方		26:22
25		CM、医師、関係者との関わり方・向き合い方		25:04
26		関係各所への地域連携		14:56
27	オンコール	オンコール対応入門		15:56

新人研修（3か月～1年以内）

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間	
1	臨床倫理について考え 理解する	臨床倫理の基礎知識	大串 優太 氏	6:06	
2		臨床倫理の考え方		8:34	
3		臨床における意思決定プロセス		9:15	
4		倫理検討の仕方		8:28	
5		モデル事例を使った検討の実際例		11:32	
6	社会人基礎	前に踏み出す力～ 主体性	出口 貴大 氏	10:05	
7		前に踏み出す力～ 働きかける力		8:25	
8		前に踏み出す力～ 実行力		10:58	
9		考え抜く力～ 課題発見力		14:27	
10		考え抜く力～ 計画力		11:31	
11		考え抜く力～ 創造力		11:49	
12		チームで働く力～ 発信力		11:51	
13		チームで働く力～ 傾聴力		6:59	
14		チームで働く力～ 柔軟性		8:36	
15		チームで働く力～ 状況把握力		7:52	
16		チームで働く力～ 規律性		8:08	
17	チームで働く力～ ストレスコントロール力	8:34			
18	多職種連携研修	多職種連携の基礎知識	大串 優太 氏	7:19	
19		多職種連携の役割分担		5:18	
20		多職種連携のコミュニケーション力		6:28	
21		多職種連携の課題と解決方法		7:22	
22		多職種連携の実際		5:46	
23	対人援助職に必要な コミュニケーション能力	コミュニケーションの基礎知識	大串 優太 氏	5:53	
24		受動的傾聴		6:54	
25		反映的傾聴		4:49	
26		積極的傾聴		6:41	
27		自己決定の支援		7:02	
28		支援者のウェルビーイング		8:44	
29	在宅看護過程	在宅における看護過程のポイント－訪問看護師に必要な判断力－	清水 奈穂美 氏	23:00	
30		事例から学ぶ「最後まで食べることを諦めなかった 終末期の療養者とその家族への訪問看護実践」		14:07	
31		事例から学ぶ「介入を拒否する服薬・インスリン管理が必要な 糖尿病をもつ療養者とその家族への訪問看護実践」		15:00	
32		事例から学ぶ「低栄養に気づかない慢性心不全をもつ 療養者への訪問看護実践」		14:08	
33		事例から学ぶ「精神障害をもつセルフネグレクトの リスクが高い療養者への訪問看護実践」		15:12	
34		事例から学ぶ「自己流の介護方法を行っている 家族介護者を支援する訪問看護実践」		17:52	
35		自宅で介護を初めて行う介護者を支援する訪問看護実践		16:16	
36		自立した生活を理想とするが、 介護を必要とする療養者への訪問看護実践		13:02	
37		介護者が認知症を患っているケースへの訪問看護実践		19:01	
38		在宅看護の基本姿勢 ～コンコórdانسを意識した関わり～		小倉 遊 氏	12:00
39		日々の小さな意思が生きる力に ～在宅看護でつむぐ意思決定支援の実際～			18:59

特別監修



奥山 美奈

一般社団法人 IGP 協会 代表理事
 TN サクセスコーチング株式会社 代表取締役
 リソースフル株式会社 取締役 教育コンサルタント

【経歴】

共育コンサルタントとして病院、介護施設の教育支援を年間 200 箇所行う。元高等学校教諭 看護師
 TN サクセスコーチング代表取締役 共育ノート、共育コーチング 日本看護協会出版会など著書、連載多数
 2022 年 4 月 S-QUE 訪問看護チーフプランナー就任

No.	内容	研修時間
1	バイタルサイン（血圧・脈拍・呼吸・体温）の測定 呼吸・排泄アセスメント 認知機能の評価・内服管理 口腔アセスメント・緊急連絡の確認 共有ノートの確認と記載	11:30
2	全身状態の観察 浮腫のアセスメント ストマ交換（体位調整）	14:29
3	全身状態の観察 点眼・軟膏塗布 内服管理	19:18
4	全身状態の観察 排泄アセスメント 立ち上がりのリハビリ 内服管理	20:44
5	全身状態の観察 排泄アセスメント 室内歩行 家族ケア	16:32
6	バイタルサインの測定 パルスオキシメータの管理 排泄状況の観察と管理（洗腸） 全身皮膚状況の観察と管理（創傷処置と爪切り） ステロイド減量による全身状態の観察	16:03
7	在宅における輸血管理 一般状態の観察 バイタルサインの測定 輸血前確認 血管確保 滴下調整 輸血後の観察	19:36
8	バイタルサイン（体温、脈、血圧、SPO ₂ ）の測定 血糖値やインスリン自己管理の確認 食事・皮膚の観察・内服状況の確認 排泄状態の観察・ADL の観察	14:29
9	家族による介助例編 ベッドから車いすへの移動（リフトの使用と活用） スライディングシートを用いた抱え上げない座り直し 及びベッド上での活用	19:18
10	バイタルサインの測定 運動前動作観察 身体機能評価 筋力訓練 自主トレ動作確認 運動後動作観察	20:44
11	ベッド⇔車いすの移乗介助 ベッド上での上方移動の介助	16:32

※研修内容は予告なく変更になる場合があります。

制度（加算） **NEW**

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間	
1	令和8年診療報酬改定	令和8年度診療報酬改定のポイント	佐藤 文俊 氏	22:56	
2		令和8年度診療報酬改定対応訪問看護料金表		1:30	
3	新設	訪問看護物価対応料		NEW	
4		訪問看護医療情報連携加算		NEW	
5		訪問看護遠隔診療補助料		NEW	
6		包括型訪問看護療養費		NEW	
7	頻出する加算	初回加算	出口 貴大 氏 大串 優太 氏 【改訂版】 佐藤 文俊 氏	NEW	
8		特別管理加算 改訂！		NEW	
9		緊急時訪問看護加算と24時間対応体制加算		NEW	
10		緊急訪問看護加算		NEW	
11		長時間訪問看護加算		NEW	
12		複数名訪問看護加算 改訂！		NEW	
13		難病等複数回訪問看護加算 改訂！		NEW	
14		退院時共同指導加算と特別管理指導加算		NEW	
15		退院時支援指導加算		NEW	
16		早朝・夜間、深夜訪問看護加算（精神科以外） 改訂！		NEW	
17		ターミナルケア加算とターミナルケア療養費		NEW	
18		訪問看護情報提供療養費		NEW	
19		訪問看護医療DX情報活用加算		NEW	
20		事業所によって算定する頻度が変わる加算		乳幼児加算 改訂！	NEW
21				在宅患者連携指導加算	NEW
22				在宅患者緊急時等カンファレンス加算	NEW
23				看護・介護職員連携強化加算	NEW
24				サービス提供体制強化加算	NEW
25				看護体制強化加算	NEW
26	機能強化型訪問看護管理療養費 改訂！		NEW		
27	特別地域・中山間地域への加算（精神科以外） 改訂！		NEW		
28	専門管理加算		NEW		
29	遠隔死亡診断補助加算		NEW		
30	口腔連携強化加算		NEW		
31	訪問看護ベースアップ評価料 改訂！		NEW		
32	介護職員等処遇改善加算 改訂！		NEW		
33	精神科訪問看護で算定する加算		精神科緊急訪問看護加算	NEW	
34		長時間精神科訪問看護加算	NEW		
35		複数名精神科訪問看護加算 改訂！	NEW		
36		複数名精神科訪問看護加算と複数名訪問看護加算の違い	NEW		
37		精神科複数回訪問加算 改訂！	NEW		
38		早朝・夜間、深夜訪問看護加算（精神科）	NEW		
39		特別地域・中山間地域への加算（精神科）	NEW		
40		精神科重症患者支援管理連携加算	NEW		
41	複数事業所で介入する時に気を付けておきたい加算と事業所間契約	1か所のみ又は複数訪問看護ステーションが算定できる加算	NEW		
42		定期巡回・随時対応型訪問介護看護（連携型）	NEW		
43		在宅がん医療総合診療について	NEW		
44		医療連携体制加算について（障害者福祉サービス）	NEW		

※研修内容は予告なく変更になる場合があります。

在宅看護技術（金城学院大学監修）

看護技術研修は、訪問看護に必要な看護技術を基礎から応用まで手順書に基づいて包括的に習得できる技術動画です！

総合監修

金城学院大学 看護学部 看護学科
教授 飯盛 茂子 氏
講師 鍋島 純世 氏
株式会社 FOOTAGE

EMPAWA 株式会社
代表取締役 佐藤 文俊 氏
一般社団法人 Life&Com
代表理事 柳澤 優子 氏

続々と追加を予定しています。

No.	旧 No.	タイトル	目的	概要	研修時間
1	L33	電話での症状確認と緊急性の判断	<ul style="list-style-type: none"> 緊急の連絡があった際に適切に対応できる 緊急訪問をした際に適切に緊急性を判断できる 	オンコールなどで利用者等から相談があった際に、電話越しで症状を確認し緊急性を判断するポイントについて学びます。	00:51
2	L34	一時救命措置 (BLS) の手順	心肺停止状態である利用者の蘇生	訪問時に利用者が心肺停止状態であることを発見した場合に、AED の使用を含めた一時救命措置 (BLS) を適切に行う方法について学びます。	2:19
3	L35	救急隊への出動要請と事前準備	<ul style="list-style-type: none"> 迅速に救急隊へ要請を行うことができる 救急隊が到着するまでに搬送先へ持参する物品を準備できる 搬送後、関係各所への確に連絡できる 	事故や急な状態変化などによって救急搬送が必要になった利用者を救急搬送するまでの流れや手順、救急隊が到着するまでの準備などについて学びます。	00:56
4	L36	関連機関への報告	状態が変化した利用者のことを関連機関へ適切に報告する	状態が変化した利用者のことを、I-SBAR-C を用いてクリニックなどの関連機関へ適切に報告するための方法について学びます。	2:13
5	L37	ワンシヨット静脈注射	末梢静脈からの薬剤の急速投与	末梢静脈からの薬剤を急速に投与する際に行うワンシヨット静脈注射について、一連の手順と手技のポイントを学びます。	2:53
6	L38	点滴前の薬剤管理	輸液の準備	バイアルやアンプルからの薬剤の吸い上げと輸液バッグへのミキシングについて、一連の手順と手技のポイントを学びます。	3:36
7	L39	点滴前のルート準備	利用者に点滴を行う前の準備	輸液バッグに輸液ルートを適切な手順で接続し、点滴を行う前の準備が正しく行えるよう、一連の手順と手技のポイントを学びます。	2:45
8	L40	留置針による静脈路の確保	末梢静脈からの輸液・薬物投与および輸血	末梢静脈からの輸液・薬物投与および輸血が必要な利用者に対して、留置針を用いて静脈路を確保する方法について、一連の手順と手技のポイントを学びます。	4:14
9	L41	皮下点滴	静脈路の確保が難しい場合に、皮下から点滴を投与する	静脈路の確保が難しい場合に、皮下から点滴を投与する方法について、一連の手順と手技のポイントを学びます。	4:15
10	L42	点滴の滴下計算	医師が指示した時間で薬剤を投与する	指示された時間で輸液を投与するための点滴の滴下計算の方法を学びます。	00:41
11	L43	留置針のロックおよび抜針	<ul style="list-style-type: none"> <点滴ロック> 静脈路を確保したまま輸液を終了する <不要になった留置針の抜去> 不要になった点滴ルートを抜去する 	静脈路を確保したまま輸液を終了するための点滴ロックの方法と、点滴ルート不要になった際に抜去する方法について、一連の手順と手技のポイントを学びます。	1:34
12	L44	点滴の側管投与	メインの輸液が投与されている状況で、別の輸液を同じ輸液ルートから投与する	メインの輸液が投与されている状況で、別の輸液を同じ輸液ルートから側管投与する方法について、一連の手順と手技のポイントを学びます。	2:03
13	L45	連結管を用いた点滴投与	<ul style="list-style-type: none"> 大量の輸液を投与する 混合可能な 2 種類の輸液を投与する 	大量の輸液を投与する、もしくは混合可能な 2 種類の輸液を投与する場合に 2 つの輸液バッグを連結する方法について、一連の手順と手技のポイントを学びます。	2:18
14	L46	医療用廃棄物の取り扱い	医療用廃棄物を安全に廃棄し、廃棄した器材や体液による感染や受傷を予防する	在宅における医療用廃棄物について、鋭利でないもの、鋭利であるが安全なくみをもつもの、鋭利なものをどのように廃棄するのが適切かを学びます。	1:38

※研修内容は予告なく変更になる場合があります。

精神科

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間	
1	開設	精神科訪問看護の初回アセスメントのポイント	田端 恭兵 氏	23:02	
2		精神科訪問看護の計画立案のポイント		21:10	
3		精神科訪問看護の評価方法		15:45	
4		精神科訪問看護の計画修正のタイミング		12:22	
5		ケースで学ぶ精神科訪問看護展開		24:30	
6		精神看護指示書と加算研修		NEW	
7		入院の繋げ方と入院形態		NEW	
8		地域の関連職種と役割		NEW	
9		興奮状態・攻撃的な言動への対応、安全を守る技術		NEW	
10		調整役としての看護師の役割		NEW	
11		自身のメンタルヘルスケア		NEW	
12		精神科看護の看護倫理	桐山 啓一郎 氏	NEW	
13		依存されない支援方法		NEW	
14		GAF 尺度の評価の仕方と活用方法	渡邊 恭佑 氏	NEW	
15		就労移行への繋げ方		NEW	
16		関係性を築く技術		NEW	
17		緊急訪問 / 電話対応		NEW	
18	基礎	精神疾患について理解する	田端 恭兵 氏	17 : 03	
19		精神科ケアのための会話術		21 : 58	
20		精神科疾患に合わせた対応方法		19 : 46	
21		精神科疾患家族への支援		16 : 44	
22		精神科訪問看護のチーム医療		19 : 29	
23		リカバリー理論		NEW	
24		ストレングス理論		NEW	
25		WRAP 元気回復行動プラン		NEW	
26		適応障害の病態と看護		NEW	
27		せん妄の病態と看護		NEW	
28		精神腫瘍学		NEW	
29		不眠の看護		NEW	
30		オレム - アンダーウッドのセルフケア看護モデル		松村 麻衣子 氏	NEW
31		積極的傾聴の基本と実践			NEW
32		心理的発達をとらえる理論的枠組み	NEW		
33		統合失調症の病態と看護	NEW		
34		幻覚・妄想のある人への看護	NEW		
35		摂食障害の理解と看護	桐山 啓一郎 氏	NEW	
36		パーソナリティ障害の理解と看護		NEW	
37		身体表現性障害の理解と看護		NEW	
38		希死念慮や自傷への対応		NEW	
39		解離障害の理解と看護	NEW		
40		SST 社会生活技能訓練	渡邊 恭佑 氏	NEW	
41		強迫性障害の病態と看護		NEW	
42		精神科薬物療法の基本的考え方	田邊 友也 氏	NEW	
43		精神科薬物療法にまつわる看護の視点		NEW	

※研修内容は予告なく変更になる場合があります。

精神科

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間		
44	基礎	認知症基本的対応技術カンフォータブル・ケア	南 敦司 氏	NEW		
45		カンフォータブル・ケア前編		NEW		
46		カンフォータブル・ケア後編		NEW		
47		カンフォータブル・ケアの 10 項目①いつも笑顔		NEW		
48		カンフォータブル・ケアの 10 項目②いつも敬語		NEW		
49		カンフォータブル・ケアの 10 項目③目線を合わせる		NEW		
50		カンフォータブル・ケアの 10 項目④やさしく触れる		NEW		
51		カンフォータブル・ケアの 10 項目⑤ほめる		NEW		
52		カンフォータブル・ケアの 10 項目⑥謝る態度を見せる		NEW		
53		カンフォータブル・ケアの 10 項目⑦不快なことは素早く終わらせる		NEW		
54		カンフォータブル・ケアの 10 項目⑧演じる要素を持つ		NEW		
55		カンフォータブル・ケアの 10 項目⑨気持ちに余裕を持つ		NEW		
56		カンフォータブル・ケアの 10 項目⑩相手に関心を向ける		NEW		
57		カンフォータブル・ケアの効果と効果的な活用法		NEW		
58		カンフォータブル・ケアこれはやめようミスケア		NEW		
59		カンフォータブル・ケアまとめ		NEW		
60				発達障害支援の全体像をとらえる① ・発達障害支援をどのようにとらえればいいのか ・発達障害を言葉の概念から理解する ・背景に隠れている現象をとらえる視点	田邊 友也 氏	NEW
61				発達障害支援の全体像をとらえる② ・診断と文化的背景の関係 ・事例から発達障害をどうとらえるか ・虐待と二次障害の関連		NEW
62		熟練		精神科薬物療法の特徴と観察・支援のポイント	松村 麻衣子 氏	NEW
63	精神力動論の看護実践への活かし方		NEW			
64	精神科における問診		NEW			
65	精神科訪問看護における意思決定支援		NEW			
66	ディエスカレーション		桐山 啓一郎 氏	NEW		
67	対象者の自殺に遭遇した際の対応			NEW		
68	認知行動療法			NEW		
69	他害への対応		渡邊 恭佑 氏	NEW		
70	精神科訪問看護における虐待への対応			NEW		
71	抗精神病薬の知識と看護の視点		田邊 友也 氏	NEW		
72	抗精神病薬の副作用の具体例			NEW		
73	抗パーキンソン薬の知識と看護の視点			NEW		
74	抗不安薬・睡眠薬の知識と看護の視点			NEW		
75	抗うつ薬の知識と看護の視点			NEW		
76	気分安定薬の知識と看護の視点			NEW		
77	トラウマインフォームドケア① ～ TIC をキーワードから理解する～			NEW		
78	トラウマインフォームドケア② ～症状や言動の背景には必ず理由がある～			NEW		
79	トラウマインフォームドケア③ ～多様な支援場面を例に理解を深める～			NEW		

※研修内容は予告なく変更になる場合があります。

領域別：認知症

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	認知症	認知症ケアのための基礎知識	田端 恭兵 氏	17:15
2		認知症の症状の支援		20:12
3		認知症の家族への支援		12:55
4		認知症の意思決定支援		15:17
5		認知症に関する社会の流れ		12:45
6		認知症訪問看護の初回アセスメントのポイント		17:04
7		認知症訪問看護の計画立案のポイント		12:28
8		認知症訪問看護の評価方法		10:06
9		認知症訪問看護の計画修正のタイミング		15:42
10		ケースで学ぶ認知症訪問看護展開		18:36

領域別：小児

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	小児	在宅ケアを必要とする小児の特徴と基礎知識	伊東 佳洋 氏	16:40
2		小児の成長・発達の正常と異常 日常生活上の異常への対応		22:08
3		小児訪問看護に多い疾病と看護の理解		17:23
4		在宅ケアを必要とする小児の家族への支援		18:05
5		小児訪問看護の退院支援と多職種連携		19:40
6		小児訪問看護の初回アセスメントのポイント		19:11
7		小児訪問看護の計画立案のポイント		18:40
8		小児訪問看護の評価方法		19:45
9		小児訪問看護の計画修正のタイミング		18:10
10		ケースで学ぶ小児訪問看護		18:44

領域別：緩和ケア

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	緩和ケア	緩和ケアの基礎知識 緩和ケアの理念と全人的苦痛について	柳澤 優子 氏	15:16
2		アセスメントのポイント 全人的苦痛を緩和し QOL を回復・向上を目指す		16:33
3		在宅緩和ケア【薬物療法】 薬物療法の基礎知識と使い方のポイント		19:13
4		在宅緩和ケア【非薬物的アプローチ】 全人的苦痛を緩和し暮らしと希望を支える看護		17:01
5		看取り期のケア 人生の最期に寄り添うケアと緩和ケアに関わる看護師へのケア		18:14
6		緩和ケア訪問看護の初回アセスメントのポイント		16:02
7		緩和ケア訪問看護の計画立案のポイント		20:42
8		緩和ケア訪問看護の評価方法		09:18
9		緩和ケア訪問看護の計画修正のタイミング		08:05
10		ケースで学ぶ緩和ケア訪問看護展開		31:31

領域別：皮膚・排泄ケア

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	皮膚・排泄ケア	スキンケアの基本	藤平 舞 氏	14:43
2		在宅療養者によくみられる皮膚疾患とケア		14:26
3		高齢者に起きやすいスキン - テアの理解と実践		18:23
4		失禁時のスキンケア		13:59
5		足病のアセスメントとケア方法		12:28
6		創部の洗浄と被覆方法		12:31
7		創部治癒過程と外用薬・創傷被覆材の選択		17:39
8		褥瘡予防のための体圧分散ケア		20:21
9		ストーマケア管理の基本		17:12
10		帯状疱疹のアセスメントとケア		16:01
11		白癬のアセスメントとケア		14:05
12		脂漏性湿疹のアセスメントとケア		14:11
13		うっ滞性皮膚炎のアセスメントとケア		22:52
14		リンパ浮腫のアセスメントとケア		21:03

※研修内容は予告なく変更になる場合があります。

領域別：難病ケア

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	難病ケア	難病ケア看護の基礎知識	馬場 愛子 氏	22:14
2		難病の看護に必要なアセスメント		17:47
3		療養生活の支援と医療的ケア		16:28
4		難病家族への支援		11:46
5		難病訪問看護の退院調整と多職種連携		10:36
6		難病ケア看護の初回アセスメントのポイント	佐藤 文俊 氏	13:01
7		難病ケア看護の計画立案のポイント		12:54
8		難病ケア看護の評価方法		13:15
9		難病ケア看護の計画修正のタイミング		12:13
10		ケースで学ぶ難病ケア看護展開		15:38

領域別：家族看護

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	家族看護	家族看護の基礎知識	中村 剛士 氏	15:54
2		家族の役割とニーズ		06:07
3		家族とのコミュニケーション		08:42
4		家族ケア計画の作成		13:02
5		家族看護の実際		09:11
6		家族看護 初回アセスメントのポイント		17:04
7		家族看護計画の作成ポイント		16:22
8		家族看護の評価方法		11:09
9		家族看護の計画修正のタイミング（実践例）		08:55
10		ケースで学ぶ家族看護の展開		16:51

領域別：糖尿病

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	糖尿病	糖尿病看護の基礎知識	佐藤 文俊 氏	12:41
2		糖尿病のアセスメント		13:14
3		糖尿病の方へのセルフケア支援		13:18
4		低血糖、高血糖、シックデイの対応		13:18
5		薬物療法のポイント		14:01
6		糖尿病看護の退院調整と多職種連携	房原 篤志 氏	22:43
7		糖尿病看護のケーススタディー		20:59
8		初学者向け、糖尿病の基礎知識		26:10
9		はじめて訪問看護で糖尿病の方を看るときのポイント		12:58
10		在宅における糖尿病患者への生活指導のポイント		17:38
11		合併症を防ぐ！在宅での多職種連携のポイント		14:37
12		認知症と糖尿病を患う方への介入ポイント		11:04

領域別：急性期

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	急性期	脱水・熱中症のサインと訪問看護における対応のポイント	佐藤 文俊 氏	20:30
2		肺炎のサインと訪問看護における対応のポイント		17:24
3		尿路感染症のサインと訪問看護における対応のポイント		14:27
4		ショックのサインと訪問看護における対応のポイント		17:02
5		脳卒中のサインと訪問看護における対応のポイント		16:44
6		BPPV（良性発作性頭位めまい症）のサインと訪問看護における対応のポイント		15:19
7		腸閉塞・イレウスのサインと訪問看護における対応のポイント		14:11
8		急性胆嚢炎・胆管炎のサインと訪問看護における対応のポイント		18:10
9		蜂窩織炎のサインと訪問看護における対応のポイント		11:22
10		肺血栓塞栓症のサインと訪問看護における対応のポイント		15:43

領域別：臨床推論

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	ケースで学ぶ 臨床推論	緊急度の見極め方 臨床推論とは何かを理解する	佐藤 文俊 氏	14:58
2		緊急度の見極め方 訪問看護における臨床推論の学び方を体得する		16:15
3		意識障害 ベッドサイドで意識障害を鑑別する際のポイント		18:59
4		意識障害 ケースで学ぶ意識障害の臨床推論		14:00
5		発熱 ベッドサイドで発熱を鑑別する際のポイント		16:10
6		発熱 ケースで学ぶ発熱の臨床推論		19:29
7		腹痛 ベッドサイドで腹痛を鑑別する際のポイント		20:59
8		腹痛 ケースで学ぶ腹痛の臨床推論		17:26
9		呼吸困難 ベッドサイドで呼吸困難を鑑別する際のポイント		19:21
10		呼吸困難 ケースで学ぶ呼吸困難の臨床推論		13:20

領域別：栄養

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	栄養ケア	訪問看護における栄養の重要性	朝倉 之基 氏	19:58
2		栄養状態の評価方法		20:46
3		疾患別の栄養管理		18:44
4		高齢者の栄養サポート		19:20
5		経腸栄養と静脈栄養		22:37
6		食事計画と調理		17:42
7		栄養指導と教育		18:59
8		栄養管理の課題への対処		19:53
9		栄養ケアの記録とモニタリング		19:12
10		栄養ケアにおける多職種連携		18:39

※研修内容は予告なく変更になる場合があります。

領域別：その他

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	心不全	心不全看護の基礎知識	高取 幸恵 氏	15:55
2		ケースで学ぶ心不全既往のある療養者への訪問看護		18:46
3	COPD	COPD 看護の基礎知識	大森 泉 氏	16:26
4		ケースで学ぶ COPD 既往のある療養者への訪問看護		11:58
5	脳卒中	脳卒中看護の基礎知識		11:10
6		ケースで学ぶ脳卒中既往のある療養者への訪問看護		09:30
7	慢性腎不全	慢性腎不全（透析維持期）看護の基礎知識		35:15
8		ケースで学ぶ慢性腎不全（透析維持期）既往のある療養者への訪問看護		20:57
9	肝不全	肝不全看護の基礎知識		06:42
10		ケースで学ぶ肝不全既往のある療養者への訪問看護		10:49

医療機器

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	医療機器管理	人工呼吸器管理の苦手意識を克服しよう	佐藤 文俊 氏	15:52
2		気管カニューレを使用している療養者のケアと管理のポイント		18:58
3		HOT を使用している療養者のケアと管理のポイント	高取 幸恵 氏	10:39
4		経管栄養を行っている療養者のケアと管理のポイント	朝倉 之基 氏	29:45
5		尿道カテーテル・膀胱瘻カテーテルを挿入している療養者のケアと管理のポイント	佐藤 文俊 氏	17:09
6		腎ろうカテーテルを挿入している療養者のケアと管理のポイント		16:06
7		在宅中心静脈栄養法（HPN）を行っている療養者のケアと管理のポイント		13:20
8		PCA ポンプを使用している療養者のケアと管理のポイント		17:32
9		皮下注射の方法と管理のポイント		16:48
10		C Vカテーテルを挿入している療養者の ケアと管理のポイント		14:44

福祉用具

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	福祉用具	歩行にかかわる福祉用具選択	樋口 翔 氏	NEW
2		起居にかかわる福祉用具選択		NEW
3		入浴にかかわる福祉用具選択		NEW
4		トイレにかかわる福祉用具選択	鬼村 忠 氏	NEW
5		ベット周りにかかわる福祉用具選択		NEW

運営指導

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	運営指導	運営指導とは	出口 貴大 氏	12:19
2		運営指導マニュアル 前編		14:43
3		運営指導マニュアル 後編		13:07
4	自己採点票で 自事業所を点検	一般原則、基本方針		17:29
5		人員基準、設備基準		08:09
6		運営基準①		11:15
7		運営基準②		07:12
8		変更の届出等、7.介護報酬の算定について①		10:59
9		変更の届出等、7.介護報酬の算定について②		15:33
10		業務管理体制の整備とは		15:31

※研修内容は予告なく変更になる場合があります。

管理者：マネジメント

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間	
1	制度理解	制度書類～確認問題編～ 義務化に関する問題	出口 貴大 氏	17:39	
2		制度書類～確認問題編～ 訪問看護指示書に関する問題		15:44	
3		制度書類～確認問題編～ 記録に関する問題		21:31	
4		制度書類～確認問題編～ 介護保険か医療保険か		18:06	
5		制度書類～確認問題編～ 退院時に関する問題		19:32	
6		制度書類～確認問題編～ 介護報酬の算定に関する問題		19:26	
7		制度書類～確認問題編～ 緊急時訪問看護加算・24 時間訪問看護加算に関する問題		15:13	
8		制度書類～確認問題編～ 訪問看護療養費の算定に関する問題		17:42	
9		制度書類～確認問題編～ 介護保険の加算に関する問題		19:53	
10		制度書類～確認問題編～ 医療保険の加算に関する問題		25:44	
11		法定研修ガイド（報酬改定で定められた研修をわかりやすく解説）		NEW	
12	会議術	基本編		17:47	
13		確認するファシリテーション		16:37	
14		書くファシリテーション		11:06	
15		準備するファシリテーション		21:33	
16		矢面に立つファシリテーション		25:41	
17		ファシリテーターの心構え		09:17	
18		会議の中でよくあるQ&A		21:41	
19	リスクマネジメント入門	リスクへの心構え		12:14	
20		リスクアセスメントの3つのステップ		10:43	
21		リスクを質と量の観点から捉える		09:27	
22		第4回目 リスク登録簿とリスク管理表		08:33	
23		リスク洗い出し方法		18:19	
24		BCPにおけるリスク管理		19:03	
25		全社的リスクマネジメントの構築		15:21	
26	マネジメント入門	管理者のマインドセット		20:19	
27		管理者像の明確化		13:38	
28		管理者が陥る罠		18:45	
29		本質を聞き出していく力		22:04	
30		逆境に順応していく力		15:59	
31		リーダーシップとマネジメント		08:55	
32		リーダーシップの発揮に有効な2種類の理論		13:41	
33		身に付けておきたい業務改善力		14:03	
34	コミュニケーション力	管理者が伝える言葉が未来を作る		宮澤 拓也 氏	14:06
35		長期的な視点			09:44
36		建設的な視点			11:11
37		共同体の視点			10:50
38		俯瞰の視点			11:54
39		多様な価値観との共存			14:48
40		対話型の学び			12:38

管理者：マネジメント

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
41	目標管理能力	MBO 入門	大串 優太 氏	07:35
42		MBO を活用する		08:14
43		OKR 入門		08:19
44		OKR を活用する		07:37
45		KPI 入門		06:04
46		KPI を活用する		06:18
47		目標設定能力を身に付ける		07:20
48	部下育成能力	管理者としての心構えと役割の変化	山口 雄太 氏	12:33
49		成人教育について		10:16
50		学習への主体性を引き出す環境構築		10:33
51		チームの方向性と目標設定		07:59
52		エンゲージメントについて		08:10
53		目標契約		12:26
54		リフレクションとフィードバック		11:08
55	クリティカルシンキング	論理的に考えるとは	出口 貴大 氏	18:19
56		主張を考える、根拠を考える		24:51
57		問題解決のベースとなる思考の技術 問題とは何か		08:35
58		問題解決のベースとなる思考の技術 MECE とロジックツリー		10:53
59		問題解決のベースとなる思考の技術 因果関係と解決策の立案、実行		13:07
60		コミュニケーション 業務の引き継ぎ		10:49
61		コミュニケーション 上手く「伝え」、上手く「聴く」		22:40
62	組織行動とリーダーシップ	組織行動の基礎と訪問看護の現場	佐藤 文俊 氏	18:36
63		モチベーションを高めるリーダーシップ		19:47
64		チームビルディングとコミュニケーション		19:58
65		変化への対応とイノベーション		19:31
66		コンフリクトとマネージメント		17:18
67		リーダーの役割と自己成長		22:09
68		未来の訪問看護を創るリーダーシップ		15:12
69	人材マネジメント入門	人材マネジメントとは	出口 貴大 氏	06:29
70		人材マネジメントの全体像		05:54
71		人事システム 採用・配置		08:59
72		人事システム 評価		11:32
73		人事システム 報酬		05:58
74		人事システム 能力開発		12:11
75		人材マネジメント入門 組織設計		08:45
76	看護の質を高める カンファレンス	カンファレンスの重要性	佐藤 文俊 氏	15:18
77		カンファレンスを開くタイミング		14:25
78		カンファレンスをおこなうための準備		17:16
79		カンファレンスの目的		13:45
80		カンファレンスの流れ		22:09
81		効果的なカンファレンス進行	大串 優太 氏	13:40
82		効果的な会議設計		12:17
83		問いを立てるスキル		10:08
84		カンファレンスの評価の仕方	佐藤 文俊 氏	17:21
85		カンファレンスで頻発する困りごと&対処法		11:58

※研修内容は予告なく変更になる場合があります。

管理者：経営学

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	経営数字力	数字のとらえ方	出口 貴大 氏	09:26
2		お金の流れがわかるブロックパズル		22:38
3		ブロックパズル活用術		10:14
4		ブロックパズルの練習道場		15:33
5		売上の仕組みを理解する		29:20
6		モニタリング数字を理解する		22:04
7		実践事例紹介		19:01
8	事業所戦略の考え方	SWOT 分析入門		30:21
9		クロス分析・アクションプラン策定編		14:43
10		新規依頼が増える地域連携活動		31:17
11		人口動態を活用した地域分析		10:44
12		事業所自己評価ガイドラインを活用し事業所の取り組むべき次のステップを見つける		13:26
13		PEST 分析入門		27:16
14		5 フォース分析入門		16:22
15	事業所戦略入門	14:22		
16	組織開発入門	組織開発の全体観	大串 優太 氏	05:47
17		組織構造による特徴		8:59
18		組織的なインセンティブ設計		07:15
19		組織の政策マネジメント		06:57
20		組織変革のステップ		10:09
21		組織内の情報の流れ		09:50
22		組織を強くするための倫理		08:58
23	採用と広報	訪問看護業界の採用環境と課題	安藤 優祐 氏	19:10
24		採用広報の基盤を整える		17:56
25		自社と市場を分析し、戦略を描く		23:32
26		採用広報を実行し、成果を高める		18:57
27		面接と採用決定		23:08
28		入社後の育成と定着		22:43
29		従業員エンゲージメントの向上と口コミ活用		17:44
30	マーケティング 経営戦略基礎	経営と経営理念	山口 雄太 氏	20:55
31		経営理念の重要性とその影響		15:16
32		目標設定の重要性とその影響		13:17
33		経営戦略の役割		19:04
34		外部環境分析		17:31
35		内部環境分析		14:31
36		戦略策定と戦術への落とし込み		17:51

※研修内容は予告なく変更になる場合があります。

様式集

No.	テーマ	プログラム名	研修時間
1	契約書関連	訪問看護契約書	1:25
2		重要事項説明書	3:36
3		個人情報使用に関する同意書	NEW
4		運営規程	NEW
5		料金表医療 2 パターン	NEW
6		料金表介護 16 パターン地域毎に異なります	NEW
7		料金表自費 1 パターン	NEW
8		個別加算同意書（医療・介護・精神）	NEW
9	事業所運営	ハラスメント防止対策に関する基本方針	7:09
10		高齢者虐待防止に関する運営規程	3:11
11		高齢者虐待防止のための重要事項説明書	4:05
12		高齢者虐待防止のための指針	6:20
13		感染症対策に関する指針	11:02
14		訪問看護医療情報連携加算の掲示文書	NEW
15		安全管理および事故発生の防止のための指針	NEW
16		訪問看護医療 DX 情報活用加算に関する掲示	NEW
17	ステーションの経営管理用帳票	訪問予定	1:55
18		社用車管理表	1:15
19		現金出納帳	2:36
20		営業管理表	2:07
21		月末書類業務管理表	2:18
22		1 日のタスク管理用フォーマット	0:45
23		請求管理表（保険請求・自己負担等）	2:33
24		待機管理帳票	1:07
25		自家用車管理表	1:02
26	入職時マニュアル	新人訪問看護師入社時マニュアル（訪問看護の概要と特徴）	13:02
27		新人訪問看護師入社時マニュアル（訪問看護制度）	14:27
28		新人訪問看護師入社時マニュアル（訪問看護ステーションの運営）	16:45
29		新人訪問看護師入社時マニュアル（訪問看護の実際）	18:04
30		オンコール規定マニュアル	12:39
31		研修規定	6:43
32		新任者研修計画	15:25
33		新任指導記録簿	6:03
34		現任者研修計画	9:09
35		研修実施記録簿	5:23
36	指示書関連	訪問看護指示書	11:31
37		精神科訪問看護指示書	5:52
38		特別訪問看護指示書	4:21
39		在宅患者訪問点滴注射指示書	4:24
40		訪問看護計画書	6:14
41		訪問看護報告書	5:16
42		訪問看護報告書（別添）	4:09
43		褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画書	1:55
44		訪問看護記録書Ⅰ	3:28
45		訪問看護記録書Ⅱ	5:34
46		訪問看護指示書 依頼書	1:41

※研修内容は予告なく変更になる場合があります。

様式集

No.	テーマ	プログラム名	研修時間
47	事務書類関連	カルテ保管方法	8:08
48		訪問看護新規申し込み書	9:31
55		初回訪問報告用紙	5:26
56		初回訪問時チェックリスト	13:42
57	インシデント・事故関連	インシデント・アクシデントの記載マニュアル	7:41
58		インシデント・アクシデント報告書	9:30
59		事故対応マニュアル	11:40
60		事故対応準備チェックリスト	2:44
61		クレーム対応マニュアル	8:13
62		苦情対応マニュアル	5:25
63		苦情対応報告書	2:53
64	労務関連	就業規則（総則、人事、勤務規律、賃金）	6:26
65		就業規則（勤務、休暇、退職、母性保護）	5:29
66		就業規則（退職・解雇、表彰・制裁）	3:05
67		就業規則（安全衛生、災害補償、出張）	1:42
68		育児・介護休業規定（目的、育児休業制度＜育児休業、出産時育児休業＞）	3:09
69		育児・介護休業規定（介護休業制度、子の看護休暇、介護休暇）	3:05
70		育児・介護休業規定（所定外労働の制限、時間外労働の制限、深夜業の制限）	6:16
71		育児・介護休業規定（育児休業・介護休業等に関するハラスメント等の防止、その他事項）	10:01
72		労働条件通知書兼雇用契約書	8:45
73		従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表	3:40
74		残業申請表	1:55
75		訪問看護運営規定	16:45
76		現場対応マニュアル	感染予防対策マニュアル 知識編
77	感染予防対策マニュアル 対応編		4:35
78	高齢者虐待対応マニュアル 知識編		8:25
79	高齢者虐待対応マニュアル 対応編		9:48
80	在宅看取りパンフレット		6:24
81	災害対応マニュアル		11:17
82	介護現場におけるハラスメント対策マニュアル		5:21
83	訪問看護業務関連	服薬確認表	4:38
84		排泄チェックシート	3:37
85		FAX 送付状	1:48
86		退院支援カンファレンス議事録	1:13
87		身体拘束等の適正化のための指針	2:39
88		看護サマリー	2:20
89		訪問看護の情報（療養に係る情報）提供書	1:10
90		委員会管理シート	2:51
91		看護技術チェックリスト	1:37
92		緊急時連絡先シート	1:10
93		単独訪問チェックリスト	3:12
94		情報共有シート	1:07

特別研修

No.	タイトル	概要	研修時間
1	TVや雑誌でおなじみの ベテラン訪問診療医 高瀬義昌先生と考える 『困った利用者、ご家族』との上手な関わり方 講師：高瀬 義昌 氏	高 EE 家族（利用者本人に批判、敵意、過度の感情表出をする家族のこと）との関わりに困っていませんか。 高 EE 家族になってしまう引き金は、利用者が「騒ぐ、電話をかけまくる、暴言を吐く」が原因のことも。じつはこれ、高齢者のうつ病のサインで、ケアと薬の最適化で改善します。医師、薬剤師、看護師、家族の連携が解決の糸口。 今回は私の訪問診療の提供場面の動画を実際に見ながら、「チームモニタリング」の大切さを学びます。	55:27
2	超・急性期医療現場を切り盛りする院長が教える 訪問看護師が知っておきたい 『急性期医療現場の今』と多職種連携 講師：辻川 知之 氏	本日は変換している急性期医療についての知識を深めていただき、病院での医療と在宅での医療（訪問看護・医療）とのスムーズな連携や協力について役立てられれば幸いです。	56:43
3	超・急性期医療現場を切り盛りする院長が教える 訪問看護師が知っておきたい 『急性期医療現場の今』と多職種連携 【対談】 パネラー：辻川 知之 氏 ファシリテーター：奥山 美奈 氏	急性期医療のこれからについてと、視聴者からの Q & A	23:40
4	訪問看護師が知っておきたい フィジカルアセスメント ～ Q&A と事例でわかりやすく解説～ 講師：道又 元裕 氏	在宅の現場では予期されない状態悪化が突然やってきます。どういう観察をして、どう判断をすればいいのかが鍵になるのがフィジカルアセスメントです。 急な対応でも落ち着いて対応できるように本講座でフィジカルアセスメントの基本をしっかり学びましょう。	58:44
5	訪問看護師が知っておきたい フィジカルアセスメント 【座談会】 座長：道又 元裕 氏 パネラー：佐藤 文俊 氏、辻本 雄大 氏、 齊藤 透 氏、露木 菜緒 氏	フィジカルアセスメントについてと視聴者からの Q & A 1. フィジカルアセスメントの重要性 2. フィジカルアセスメントで大切にしていること 3. 訪問看護での様々な経験 Q & A：尿路感染症について Q & A：心不全の在宅モニタリング Q & A：褥創について、在宅で注意すること Q & A：意識低下、呼吸困難時の緊急判断	40:06
6	訪問看護の基礎を大きく変える TKA の最新知見とは 講師：高柴 賢一郎 氏	本講演では、人工膝関節 (TKA) の構造とその進化をもとに、訪問看護に役立つ最新の知見を紹介します。関節の可動性や安定性を高める新しい設計が、疼痛軽減や早期自立にどう影響するのかをわかりやすく解説。退院後のリスク管理や在宅での看護支援に活かせるポイントをわかりやすく示します。人工関節の「仕組み」を理解することで、看護の視点が大きく変わる実践的な講演です。	49:39
7	訪問看護の TKA における 運動（生活）強度の設定と目標 講師：川口 直樹 氏	人工膝関節置換術 (TKA) 後のリハビリテーションについて、訪問看護の現場で役立つ実践的な内容をお届けします。医師による最新の治験・治療動向の解説に続き、私からは術後の回復過程に応じた運動指導や負荷設定、転倒予防のポイントを詳しく紹介します。訪問場面での観察・助言の質を高めるヒントを共有し、チームで支える在宅リハの実践力を高めましょう。	57:26

特別研修

No.	タイトル	概要	研修時間
8	訪問看護のTKAにおける 運動(生活)強度の設定と目標 【Q & A】 パネラー：高柴 賢一郎 氏、川口 直樹 氏 ファシリテーター：奥山 美奈 氏	視聴者からのQ & A Q & A：人工関節の耐久年数 Q & A：人工関節の感染のリスク Q & A：入浴のタイミング Q & A：TKAの注意点	13:47
9	“転ばせない訪問看護” 高齢者の転倒予防に必要な視点と実践 講師：高山 かおる 氏	高齢者の転倒は、訪問看護において最も注意すべき健康課題の一つである。転倒後の骨折は生活機能の低下や要介護化に直結し、その背景には下肢機能低下だけでなく、ポリファーマシーによるふらつきや認知機能低下、夜間頻尿による暗所歩行など、多様な要因が関わっている。訪問看護師が服薬状況や排泄状況、生活環境を含めて評価し、多職種と連携することで、予測可能な転倒を未然に防ぐことができる。また、足の変形や爪トラブルは歩行不安定につながり、転倒リスクを高める。足部の観察や爪の管理、清潔保持といった基本的なフットケアは、単なる衛生管理ではなく「歩行を支えるケア」として重要である。本講義では、訪問看護の現場で実践できる転倒予防の視点と介入方法について、現場で役立つポイントを中心に整理する。	57:37
10	在宅における高度実践看護の 「これから」を考える 講師：道又 元裕 氏	近未来に向け多死社会・独居増・複合ニーズ拡大により、間違いなく訪問看護需要が急伸びます。そのためには、人的資源不足、小規模事業所の24時間負担、処遇格差・地域偏在など種々の課題をクリアしながら、広域連携やICT/DX、遠隔モニタリング/AI、特定行為とACPを軸に在宅看取りとアウトカム向上、IPWのHUB的役割、教育・研究・制度提言での価値の可視化を高度実践看護（熟練看護師の実践）が中心となって目指すことが急務です。	1:04:26
11	食の最前線～食の尊厳支援～ 講師：五島 朋幸 氏	医療発展でも食べられぬ人がいる。原因は器質・機能・心理・薬剤、高齢者肺炎の多くは誤嚥性肺炎、禁食や安静で筋肉減り嚥下低下、食支援は栄養・口腔・環境を統合、見つける・つなぐ・結果出す・広める。	1:13:15

ラダー I

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	交通ルール	自動車、原付、バイク	佐藤 文俊 氏	NEW
2		自転車		NEW
3	介護保険、医療保険の制度	訪問看護師が押さえておくべき介護保険・医療保険の制度 (報酬と提供の違い)		NEW
4		訪問看護師が押さえておくべき介護保険・医療保険の制度 (対象者理解と見分け方)		NEW
5	社会人として役割、責任	3つの心構え、生活リズム、関わる人	出口 貴大 氏	12:43
6		役割と責任、学び方		9:24
7		チームとして動く		10:07
8	社会人としての 基本意識と基本行動	～基本意識編～ 仕事の進め方入門		20:13
9		～基本意識編 1～ ビジネスマナー		17:57
10		～基本意識編 2～ 報連相		8:31
11	訪問看護にまつわる 制度・書類を理解する	訪問看護師が取り扱う書類 ～外部から頂くもの：ケアプラン、指示書類～		31:47
12		訪問看護師が取り扱う書類 ～事業所で作成するもの：計画書、報告書類～		20:54
13		訪問看護師が知っておきたい公費の考え方と取り扱い		27:14
14	個人情報保護の知識を身につけ 現場で実践する	個人情報保護の基礎知識		8:34
15		個人情報の取り扱いに関する実務		11:55
16		訪問看護事業所内での具体的取組		14:52
17	訪問看護基礎	訪問看護師としての心構えと実際		16:35
18		訪問看護とは		10:17
19		訪問看護の流れ (依頼からケアの実施、報告までの流れ)		11:53
20		苦情対応		10:20
21		クレーム対応		24:39
22		事故対応		13:15
23		内服管理のための環境整備		18:06
24		利用者と家族への関わり方・向き合い方		26:22
25		CM、医師、関係者との関わり方・向き合い方		25:04
26		関係各所への地域連携		14:56
27		社会人基礎		前に踏み出す力～ 主体性
28	前に踏み出す力～ 働きかける力			8:25
29	前に踏み出す力～ 実行力			10:58
30	考え抜く力～ 課題発見力			14:27
31	考え抜く力～ 計画力			11:31
32	考え抜く力～ 創造力			11:49
33	チームで働く力～ 発信力			11:51
34	チームで働く力～ 傾聴力			6:59
35	チームで働く力～ 柔軟性			8:36
36	チームで働く力～ 状況把握力			7:52
37	チームで働く力～ 規律性			8:08
38	チームで働く力～ ストレスコントロール力	8:34		

※研修内容は予告なく変更になる場合があります。

ラダー I

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
39	在宅看護過程	在宅における看護過程のポイント - 訪問看護師に必要な判断力-	清水 奈穂美 氏	23:00
40		事例から学ぶ「最後まで食べることを諦めなかった 終末期の療養者とその家族への訪問看護実践」		14:07
41		事例から学ぶ「介入を拒否する服薬・インスリン管理が必要な 糖尿病をもつ療養者とその家族への訪問看護実践」		15:00
42		事例から学ぶ「低栄養に気づかない慢性心不全をもつ療養者への訪問看護実践」		14:08
43		事例から学ぶ「精神障害をもつセルフネグレクトの リスクが高い療養者への訪問看護実践」		15:12
44		事例から学ぶ「自己流の介護方法を行っている家族介護者を支援する訪問看護実践」		17:52
45		自宅で介護を初めて行う介護者を支援する訪問看護実践		宮田 知子 氏
46	自立した生活を理想とするが、介護を必要とする療養者への訪問看護実践	13:02		
47	介護者が認知症を患っているケースへの訪問看護実践	19:01		
48	在宅看護の基本姿勢 ～コンコーダンスを意識した関わり～	日々の小さな意思が生きる力に ～在宅看護でつむぐ意思決定支援の実際～	小倉 遊 氏	12:00
49				18:59
50	在宅看護技術	電話での症状確認と緊急性の判断	【総合監修】 金城学院大学 看護学部 看護学科 教授 飯盛 茂子 氏 講師 銅島 純世 氏 株式会社 FOOTAGE EMPAWA 株式会社 代表取締役 佐藤 文俊 氏 一般社団法人 Life&Com 代表理事 柳澤 優子 氏	00:51
51		一時救命措置 (BLS) の手順		2:19
52		救急隊への出動要請と事前準備		00:56
53		関連機関への報告		2:13
54		ワンショット静脈注射		2:53
55		点滴前の薬剤管理		3:36
56		点滴前のルート準備		2:45
57		留置針による静脈路の確保		4:14
58		皮下点滴		4:15
59		点滴の滴下計算		00:41
60		留置針のロックおよび抜針		1:34
61		点滴の側管投与		2:03
62		連結管を用いた点滴投与		2:18
63		医療用廃棄物の取り扱い		1:38

ラダーⅡ

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	臨床倫理について考え 理解する	臨床倫理の基礎知識	大串 優太 氏	6:06
2		臨床倫理の考え方		8:34
3		臨床における意思決定プロセス		9:15
4		倫理検討の仕方		8:28
5		モデル事例を使った検討の実例		11:32
6	多職種連携研修	多職種連携の基礎知識		7:19
7		多職種連携の役割分担		5:18
8		多職種連携のコミュニケーション力		6:28
9		多職種連携の課題と解決方法		7:22
10		多職種連携の実例		5:46
11	対人援助職に必要な コミュニケーション能力	コミュニケーションの基礎知識		5:53
12		受動的傾聴		6:54
13		反動的傾聴		4:49
14		積極的傾聴		6:41
15		自己決定の支援		7:02
16		支援者のウェルビーイング		8:44
17	皮膚・排泄ケア	スキンケアの基本	藤平 舞 氏	14:43
18		在宅療養者によくみられる皮膚疾患とケア		14:26
19		高齢者に起きやすいスキン-ケアの理解と実践		18:23
20		失禁時のスキンケア		13:59
21		足病のアセスメントとケア方法		12:28
22		創部の洗浄と被覆方法		12:31
23		創部治癒過程と外用薬・創傷被覆材の選択		17:39
24		褥瘡予防のための体圧分散ケア		20:21
25		ストーマケア管理の基本		17:12
26		帯状疱疹のアセスメントとケア		16:01
27		白癬のアセスメントとケア		14:05
28		脂漏性湿疹のアセスメントとケア		14:11
29		うっ滞性皮膚炎のアセスメントとケア		22:52
30		リンパ浮腫のアセスメントとケア		21:03
31	栄養ケア	訪問看護における栄養の重要性	朝倉 之基 氏	19:58
32		栄養状態の評価方法		20:46
33		疾患別の栄養管理		18:44
34		高齢者の栄養サポート		19:20
35		経腸栄養と静脈栄養		22:37
36		食事計画と調理		17:42
37		栄養指導と教育		18:59
38		栄養管理の課題への対処		19:53
39		栄養ケアの記録とモニタリング		19:12
40		栄養ケアにおける多職種連携		18:39

ラダーⅡ

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
41	医療機器管理	人工呼吸器管理の苦手意識を克服しよう	佐藤 文俊 氏	15:52
42		気管カニューレを使用している療養者のケアと管理のポイント		18:58
43		HOT を使用している療養者のケアと管理のポイント	高取 幸恵 氏	10:39
44		経管栄養を行っている療養者のケアと管理のポイント	朝倉 之基 氏	29:45
45		尿道カテーテル・膀胱瘻カテーテルを挿入している療養者のケアと管理のポイント	佐藤 文俊 氏	17:09
46		腎ろうカテーテルを挿入している療養者のケアと管理のポイント		16:06
47		在宅中心静脈栄養法（HPN）を行っている療養者のケアと管理のポイント		13:20
48		PCA ポンプを使用している療養者のケアと管理のポイント		17:32
49		皮下注射の方法と管理のポイント		16:48
50		CVカテーテルを挿入している療養者の ケアと管理のポイント		14:44
51	精神	精神科訪問看護の初回アセスメントのポイント	田端 恭兵 氏	23:02
52		精神科訪問看護の計画立案のポイント		21:10
53		精神科訪問看護の評価方法		15:45
54		精神科訪問看護の計画修正のタイミング		12:22
55		ケースで学ぶ精神科訪問看護展開		24:30
56		精神看護指示書と加算研修		NEW
57		入院の繋げ方と入院形態		NEW
58		地域の関連職種と役割		NEW
59		興奮状態・攻撃的な言動への対応、安全を守る技術		NEW
60		調整役としての看護師の役割	NEW	
61		自身のメンタルヘルスケア	NEW	
62		精神科看護の看護倫理	桐山 啓一郎 氏	NEW
63		依存されない支援方法	NEW	
64	GAF 尺度の評価の仕方と活用方法	渡邊 恭佑 氏	NEW	
65	就労移行への繋げ方		NEW	
66	関係性を築く技術		NEW	
67	緊急訪問 / 電話対応		NEW	
68	制度	初回加算	出口 貴大 氏 大串 優太 氏 【改訂版】 佐藤 文俊 氏	NEW
69		特別管理加算 改訂！		NEW
70		緊急時訪問看護加算と 24 時間対応体制加算		NEW
71		緊急訪問看護加算		NEW
72		長時間訪問看護加算		NEW
73		複数名訪問看護加算 改訂！		NEW
74		難病等複数回訪問看護加算 改訂！		NEW
75		退院時共同指導加算と特別管理指導加算		NEW
76		退院時支援指導加算		NEW
77		早朝・夜間、深夜訪問看護加算（精神科以外） 改訂！		NEW
78		精神科緊急訪問看護加算		NEW
79		長時間精神科訪問看護加算		NEW
80		複数名精神科訪問看護加算 改訂！		NEW
81		複数名精神科訪問看護加算と複数名訪問看護加算の違い		NEW
82		精神科複数回訪問加算 改訂！		NEW
83		早朝・夜間、深夜訪問看護加算（精神科）		NEW

※研修内容は予告なく変更になる場合があります。

ラダーⅢ

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	認知症	認知症ケアのための基礎知識	田端 恭兵 氏	17:15
2		認知症の症状の支援		20:12
3		認知症の家族への支援		12:55
4		認知症の意思決定支援		15:17
5		認知症に関する社会の流れ		12:45
6		認知症訪問看護の初回アセスメントのポイント		17:04
7		認知症訪問看護の計画立案のポイント		12:28
8		認知症訪問看護の評価方法		10:06
9		認知症訪問看護の計画修正のタイミング		15:42
10		ケースで学ぶ認知症訪問看護展開		18:36
11	小児	在宅ケアを必要とする小児の特徴と基礎知識	伊東 佳洋 氏	16:40
12		小児の成長・発達の正常と異常 日常生活上の異常への対応		22:08
13		小児訪問看護に多い疾病と看護の理解		17:23
14		在宅ケアを必要とする小児の家族への支援		18:05
15		小児訪問看護の退院支援と多職種連携		19:40
16		小児訪問看護の初回アセスメントのポイント		19:11
17		小児訪問看護の計画立案のポイント		18:40
18		小児訪問看護の評価方法		19:45
19		小児訪問看護の計画修正のタイミング		18:10
20		ケースで学ぶ小児訪問看護		18:44
21	緩和ケア	緩和ケアの基礎知識 緩和ケアの理念と全人的苦痛について	柳澤 優子 氏	15:16
22		アセスメントのポイント 全人的苦痛を緩和し QOL を回復・向上を目指す		16:33
23		在宅緩和ケア【薬物療法】薬物療法の基礎知識と使い方のポイント		19:13
24		在宅緩和ケア【非薬物的アプローチ】全人的苦痛を緩和し暮らしと希望を支える看護		17:01
25		看取り期のケア 人生の最期に寄り添うケアと緩和ケアに関わる看護師へのケア		18:14
26		緩和ケア訪問看護の初回アセスメントのポイント		16:02
27		緩和ケア訪問看護の計画立案のポイント		20:42
28		緩和ケア訪問看護の評価方法		09:18
29		緩和ケア訪問看護の計画修正のタイミング		08:05
30		ケースで学ぶ緩和ケア訪問看護展開		31:31
31	糖尿病	糖尿病看護の基礎知識	佐藤 文俊 氏	12:41
32		糖尿病のアセスメント		13:14
33		糖尿病の方へのセルフケア支援		13:18
34		低血糖、高血糖、シックデイの対応		13:18
35		薬物療法のポイント		14:01
36		糖尿病看護の退院調整と多職種連携	房原 篤志 氏	22:43
37		糖尿病看護のケーススタディー		20:59
38		初学者向け、糖尿病の基礎知識		26:10
39		はじめて訪問看護で糖尿病の方を看るときのポイント		12:58
40		在宅における糖尿病患者への生活指導のポイント		17:38
41		合併症を防ぐ！在宅での多職種連携のポイント		14:37
42		認知症と糖尿病を患う方への介入ポイント		11:04

ラダーⅢ

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間	
43	心不全	心不全看護の基礎知識	高取 幸恵 氏	15:55	
44		ケースで学ぶ心不全既往のある療養者への訪問看護		18:46	
45	COPD	COPD 看護の基礎知識	大森 泉 氏	16:26	
46		ケースで学ぶ COPD 既往のある療養者への訪問看護		11:58	
47	脳卒中	脳卒中看護の基礎知識		11:10	
48		ケースで学ぶ脳卒中既往のある療養者への訪問看護		09:30	
49	慢性腎不全	慢性腎不全（透析維持期）看護の基礎知識		35:15	
50		ケースで学ぶ慢性腎不全（透析維持期）既往のある療養者への訪問看護		20:57	
51	肝不全	肝不全看護の基礎知識		06:42	
52		ケースで学ぶ肝不全既往のある療養者への訪問看護		10:49	
53	精神	精神疾患について理解する		田端 恭兵 氏	17 : 03
54		精神科ケアのための会話術			21 : 58
55		精神科疾患に合わせた対応方法	19 : 46		
56		精神科疾患家族への支援	16 : 44		
57		精神科訪問看護のチーム医療	19 : 29		
58		リハビリ理論	NEW		
59		ストレングス理論	NEW		
60		WRAP 元気回復行動プラン	NEW		
61		適応障害の病態と看護	NEW		
62		せん妄の病態と看護	NEW		
63		精神腫瘍学	NEW		
64		不眠の看護	NEW		
65		オレム - アンダーウッドのセルフケア看護モデル	松村 麻衣子 氏		NEW
66		積極的傾聴の基本と実践			NEW
67		心理的発達をとらえる理論的枠組み			NEW
68		統合失調症の病態と看護			NEW
69		幻覚・妄想のある人への看護	桐山 啓一郎 氏		NEW
70		摂食障害の理解と看護			NEW
71	パーソナリティ障害の理解と看護	NEW			
72	身体表現性障害の理解と看護	NEW			
73	希死念慮や自傷への対応	NEW			
74	解離障害の理解と看護	NEW			
75	SST 社会生活技能訓練	渡邊 恭佑 氏		NEW	
76	強迫性障害の病態と看護			NEW	
77	精神科薬物療法の基本的考え方	田邊 友也 氏	NEW		
78	精神科薬物療法にまつわる看護の視点		NEW		

ラダーⅢ

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
79	精神	認知症基本的対応技術カンフォータブル・ケア	南 敦司 氏	NEW
80		カンフォータブル・ケア前編		NEW
81		カンフォータブル・ケア後編		NEW
82		カンフォータブル・ケアの 10 項目①いつも笑顔		NEW
83		カンフォータブル・ケアの 10 項目②いつも敬語		NEW
84		カンフォータブル・ケアの 10 項目③目線を合わせる		NEW
85		カンフォータブル・ケアの 10 項目④やさしく触れる		NEW
86		カンフォータブル・ケアの 10 項目⑤ほめる		NEW
87		カンフォータブル・ケアの 10 項目⑥謝る態度を見せる		NEW
88		カンフォータブル・ケアの 10 項目⑦不快なことは素早く終わらせる		NEW
89		カンフォータブル・ケアの 10 項目⑧演じる要素を持つ		NEW
90		カンフォータブル・ケアの 10 項目⑨気持ちに余裕を持つ		NEW
91		カンフォータブル・ケアの 10 項目⑩相手に関心を向ける		NEW
92		カンフォータブル・ケアの効果と効果的な活用法		NEW
93		カンフォータブル・ケアこれはやめようミスケア		NEW
94		カンフォータブル・ケアまとめ		NEW
95		発達障害支援の全体像をとらえる① ・発達障害支援をどのようにとらえればいいのか ・発達障害を言葉の概念から理解する ・背景に隠れている現象をとらえる視点	田邊 友也 氏	NEW
96		発達障害支援の全体像をとらえる② ・診断と文化的背景の関係 ・事例から発達障害をどうとらえるか ・虐待と二次障害の関連		NEW
97	制度	精神科重症患者支援管理連携加算	出口 貴大 氏 大串 優太 氏 【改訂版】 佐藤 文俊 氏	NEW
98		1 か所のみ又は複数訪問看護ステーションが算定できる加算		NEW
99		定期巡回・随時対応型訪問介護看護（連携型）		NEW
100		ターミナルケア加算とターミナルケア療養費		NEW
101		乳幼児加算 改訂！		NEW
102		在宅患者連携指導加算 改訂！		NEW
103		在宅患者緊急時等カンファレンス加算		NEW
104		看護・介護職員連携強化加算		NEW
105		口腔連携強化加算		NEW
106		訪問看護情報提供療養費		NEW
107		訪問看護医療 DX 情報活用加算		NEW
108		訪問看護医療情報連携加算		NEW
109	訪問看護遠隔診療補助料	NEW		

ラダーⅣ

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	難病ケア	難病ケア看護の基礎知識	馬場 愛子 氏	22:14
2		難病の看護に必要なアセスメント		17:47
3		療養生活の支援と医療的ケア		16:28
4		難病家族への支援		11:46
5		難病訪問看護の退院調整と多職種連携		10:36
6		難病ケア看護の初回アセスメントのポイント	佐藤 文俊 氏	13:01
7		難病ケア看護の計画立案のポイント		12:54
8		難病ケア看護の評価方法		13:15
9		難病ケア看護の計画修正のタイミング		12:13
10		ケースで学ぶ難病ケア看護展開		15:38
11	家族看護	家族看護の基礎知識	中村 剛士 氏	15:54
12		家族の役割とニーズ		06:07
13		家族とのコミュニケーション		08:42
14		家族ケア計画の作成		13:02
15		家族看護の実際		09:11
16		家族看護 初回アセスメントのポイント		17:04
17		家族看護計画の作成ポイント		16:22
18		家族看護の評価方法		11:09
19		家族看護の計画修正のタイミング（実践例）		08:55
20		ケースで学ぶ家族看護の展開		16:51
21	急性期	脱水・熱中症のサインと訪問看護における対応のポイント	佐藤 文俊 氏	20:30
22		肺炎のサインと訪問看護における対応のポイント		17:24
23		尿路感染症のサインと訪問看護における対応のポイント		14:27
24		ショックのサインと訪問看護における対応のポイント		17:02
25		脳卒中のサインと訪問看護における対応のポイント		16:44
26		BPPV（良性発作性頭位めまい症）のサインと訪問看護における対応のポイント		15:19
27		腸閉塞・イレウスのサインと訪問看護における対応のポイント		14:11
28		急性胆嚢炎・胆管炎のサインと訪問看護における対応のポイント		18:10
29		蜂窩織炎のサインと訪問看護における対応のポイント		11:22
30		肺血栓塞栓症のサインと訪問看護における対応のポイント		15:43

ラダーⅣ

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間		
31	ケースで学ぶ臨床推論	緊急度の見極め方 臨床推論とは何かを理解する	佐藤 文俊 氏	14:58		
32		緊急度の見極め方 訪問看護における臨床推論の学び方を体得する		16:15		
33		意識障害 ベッドサイドで意識障害を鑑別する際のポイント		18:59		
34		意識障害 ケースで学ぶ意識障害の臨床推論		14:00		
35		発熱 ベッドサイドで発熱を鑑別する際のポイント		16:10		
36		発熱 ケースで学ぶ発熱の臨床推論		19:29		
37		腹痛 ベッドサイドで腹痛を鑑別する際のポイント		20:59		
38		腹痛 ケースで学ぶ腹痛の臨床推論		17:26		
39		呼吸困難 ベッドサイドで呼吸困難を鑑別する際のポイント		19:21		
40		呼吸困難 ケースで学ぶ呼吸困難の臨床推論		13:20		
41		精神		精神科薬物療法の特徴と観察・支援のポイント	松村 麻衣子 氏	NEW
42				精神力動論の看護実践への活かし方		NEW
43	精神科における問診		NEW			
44	精神科訪問看護における意思決定支援		NEW			
45	ディエスカレーション		桐山 啓一郎 氏	NEW		
46	対象者の自殺に遭遇した際の対応			NEW		
47	認知行動療法			NEW		
48	他害への対応		渡邊 恭佑 氏	NEW		
49	精神科訪問看護における虐待への対応			NEW		
50	抗精神病薬の知識と看護の視点		田邊 友也 氏	NEW		
51	抗精神病薬の副作用の具体例			NEW		
52	抗パーキンソン薬の知識と看護の視点			NEW		
53	抗不安薬・睡眠薬の知識と看護の視点			NEW		
54	抗うつ薬の知識と看護の視点			NEW		
55	気分安定薬の知識と看護の視点			NEW		
56	トラウマインフォームドケア①～TICをキーワードから理解する～			NEW		
57	トラウマインフォームドケア②～症状や言動の背景には必ず理由がある～			NEW		
58	トラウマインフォームドケア③～多様な支援場面を例に理解を深める～			NEW		

リーダーV

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	組織行動とリーダーシップ	組織行動の基礎と訪問看護の現場	佐藤 文俊 氏	18:36
2		モチベーションを高めるリーダーシップ		19:47
3		チームビルディングとコミュニケーション		19:58
4		変化への対応とイノベーション		19:31
5		コンフリクトとマネージメント		17:18
6		リーダーの役割と自己成長		22:09
7		未来の訪問看護を創るリーダーシップ		15:12
8	看護の質を高めるカンファレンス	カンファレンスの重要性	大串 優太 氏	15:18
9		カンファレンスを開くタイミング		14:25
10		カンファレンスをおこなうための準備		17:16
11		カンファレンスの目的		13:45
12		カンファレンスの流れ		22:09
13		効果的なカンファレンス進行		13:40
14		効果的な会議設計		12:17
15	問いを立てるスキル	10:08		
16	カンファレンスの評価の仕方	カンファレンスの評価の仕方	佐藤 文俊 氏	17:21
17		カンファレンスで頻発する困りごと&対処法		11:58
18	会議術	基本編	出口 貴大 氏	17:47
19		確認するファシリテーション		16:37
20		書くファシリテーション		11:06
21		準備するファシリテーション		21:33
22		矢面に立つファシリテーション		25:41
23		ファシリテーターの心構え		09:17
24		会議の中でよくあるQ&A		21:41
25	クリティカルシンキング	論理的に考えるととは	出口 貴大 氏	18:19
26		主張を考える、根拠を考える		24:51
27		問題解決のベースとなる思考の技術 問題とは何か		08:35
28		問題解決のベースとなる思考の技術 MECEとロジックツリー		10:53
29		問題解決のベースとなる思考の技術 因果関係と解決策の立案、実行		13:07
30		コミュニケーション 業務の引き継ぎ		10:49
31		コミュニケーション 上手く「伝え」、上手く「聴く」		22:40

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
1	運営指導	運営指導とは	出口 貴大 氏	12:19
2		運営指導マニュアル 前編		14:43
3		運営指導マニュアル 後編		13:07
4	自己採点票で 自事業所を点検	一般原則、基本方針		17:29
5		人員基準、設備基準		08:09
6		運営基準①		11:15
7		運営基準②		07:12
8		変更の届出等、7.介護報酬の算定について①		10:59
9		変更の届出等、7.介護報酬の算定について②		15:33
10		業務管理体制の整備とは		15:31
11	情報公表とは	情報公表とは		08:25
12	記載方法	情報公表の記載方法 基本情報編		16:45
13		情報公表の記載方法 運営情報編（サービス内容）～立ち合いを踏まえて～		26:45
14		情報公表の記載方法 運営情報編（運営状況）～立ち合いを踏まえて～		15:19
15	情報公表の必須研修	認知症及び認知症ケアに関する研修		33:51
16		プライバシーの保護の取り組みに関する研修		17:42
17		訪問看護ステーションにおける職業倫理と法令遵守		20:11
18		事故発生又は再発防止に関する研修		17:58
19		緊急時の対応に関する研修		23:31
20		感染症及び食中毒の予防・まん延の防止に関する研修		18:46
21	制度理解	制度書類～確認問題編～ 義務化に関する問題		17:39
22		制度書類～確認問題編～ 訪問看護指示書に関する問題		15:44
23		制度書類～確認問題編～ 記録に関する問題		21:31
24		制度書類～確認問題編～ 介護保険か医療保険か		18:06
25		制度書類～確認問題編～ 退院時に関する問題		19:32
26		制度書類～確認問題編～ 介護報酬の算定に関する問題		19:26
27		制度書類～確認問題編～ 緊急時訪問看護加算・24時間訪問看護加算に関する問題		15:13
28		制度書類～確認問題編～ 訪問看護療養費の算定に関する問題		17:42
29		制度書類～確認問題編～ 介護保険の加算に関する問題		19:53
30		制度書類～確認問題編～ 医療保険の加算に関する問題		25:44

リーダー管理者

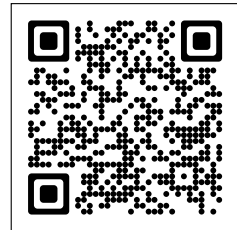
No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間	
31	リスクマネジメント 入門	リスクへの心構え	出口 貴大 氏	12:14	
32		リスクアセスメントの3つのステップ		10:43	
33		リスクを質と量の観点から捉える		09:27	
34		第4回目 リスク登録簿とリスク管理表		08:33	
35		リスク洗い出し方法		18:19	
36		BCPにおけるリスク管理		19:03	
37		全社的リスクマネジメントの構築		15:21	
38	マネジメント 入門	管理者のマインドセット		出口 貴大 氏	20:19
39		管理者像の明確化			13:38
40		管理者が陥る罠			18:45
41		本質を聞き出していく力			22:04
42		逆境に順応していく力			15:59
43		リーダーシップとマネジメント			08:55
44		リーダーシップの発揮に有効な2種類の理論			13:41
45		身に付けておきたい業務改善力	14:03		
46	コミュニケーション 力	管理者が伝える言葉が未来を作る	宮澤 拓也 氏	14:06	
47		長期的な視点		09:44	
48		建設的な視点		11:11	
49		共同体の視点		10:50	
50		俯瞰の視点		11:54	
51		多様な価値観との共存		14:48	
52		対話型の学び		12:38	

リーダー管理者

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
53	目標管理能力	MBO 入門	大串 優太 氏	07:35
54		MBO を活用する		08:14
55		OKR 入門		08:19
56		OKR を活用する		07:37
57		KPI 入門		06:04
58		KPI を活用する		06:18
59		目標設定能力を身に付ける		07:20
60	部下育成能力	管理者としての心構えと役割の変化	山口 雄太 氏	12:33
61		成人教育について		10:16
62		学習への主体性を引き出す環境構築		10:33
63		チームの方向性と目標設定		07:59
64		エンゲージメントについて		08:10
65		目標契約		12:26
66		リフレクションとフィードバック		11:08
67	人材マネジメント入門	人材マネジメントとは		06:29
68		人材マネジメントの全体像		05:54
69		人事システム 採用・配置		08:59
70		人事システム 評価		11:32
71		人事システム 報酬		05:58
72		人事システム 能力開発		12:11
73		人材マネジメント入門 組織設計		08:45
74	経営数字力	数字のとらえ方	出口 貴大 氏	09:26
75		お金の流れがわかるブロックパズル		22:38
76		ブロックパズル活用術		10:14
77		ブロックパズルの練習道場		15:33
78		売上の仕組みを理解する		29:20
79		モニタリング数字を理解する		22:04
80		実践事例紹介		19:01
81	事業所戦略の考え方	SWOT 分析入門		30:21
82		クロス分析・アクションプラン策定編		14:43
83		新規依頼が増える地域連携活動		31:17
84		人口動態を活用した地域分析		10:44
85		事業所自己評価ガイドラインを活用し事業所の取り組むべき次のステップを見つける		13:26
86		PEST 分析入門		27:16
87		5 フォース分析入門		16:22
88		事業所戦略入門		14:22

No.	テーマ	プログラム名	講師	研修時間
89	組織開発入門	組織開発の全体観	大串 優太 氏	05:47
90		組織構造による特徴		8:59
91		組織的なインセンティブ設計		07:15
92		組織の政策マネジメント		06:57
93		組織変革のステップ		10:09
94		組織内の情報の流れ		09:50
95		組織を強くするための倫理		08:58
96	採用と広報	訪問看護業界の採用環境と課題	安藤 優祐 氏	19:10
97		採用広報の基盤を整える		17:56
98		自社と市場を分析し、戦略を描く		23:32
99		採用広報を実行し、成果を高める		18:57
100		面接と採用決定		23:08
101		入社後の育成と定着		22:43
102		従業員エンゲージメントの向上と口コミ活用		17:44
103	マーケティング 経営戦略基礎	経営と経営理念	山口 雄太 氏	20:55
104		経営理念の重要性とその影響		15:16
105		目標設定の重要性とその影響		13:17
106		経営戦略の役割		19:04
107		外部環境分析		17:31
108		内部環境分析		14:31
109		戦略策定と戦術への落とし込み		17:51
110	制度	在宅がん医療総合診療について	出口 貴大 氏 大串 優太 氏 【改訂版】 佐藤 文俊 氏	NEW
111		医療連携体制加算について（障害者福祉サービス）		NEW
112		サービス提供体制強化加算		NEW
113		看護体制強化加算		NEW
114		機能強化型訪問看護管理療養費 改訂！		NEW
115		特別地域・中山間地域への加算（精神科以外） 改訂！		NEW
116		専門管理加算		NEW
117		遠隔死亡診断補助加算		NEW
118		訪問看護ベースアップ評価料 改訂！		NEW
119		特別地域・中山間地域への加算（精神科）		NEW
120		訪問看護物価対応料の新設		NEW

プログラムはこちらからダウンロードできます。
<https://s-que.net/pdf/houkan-program.pdf>



●個別説明会をご希望の方はこちら

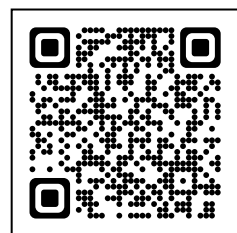
<https://s-que.net/apply-form/individual-information-session/>

※説明会はオンライン（Zoom）となります。



2週間の無料トライアル実施中！
ぜひお試しください！

<https://s-que.net/apply-form/freetrial/>



こちらもおすすめ！

今更
きけないことは
美看 bikan に
おまかせ！

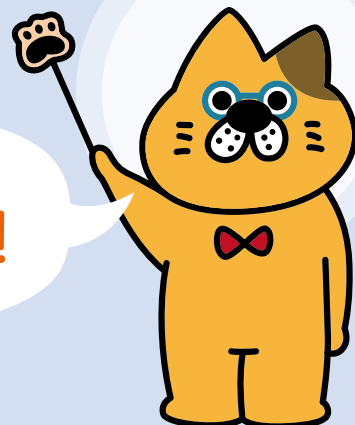
看護技術やケア、診療報酬改定、介護報酬改定など専門知識が求められる疑問に、各看護分野の専門家がお答えします。

職員全員が外部の研修を受講すると
経費がかかりすぎる・・・



そのお悩み・・・

S-QUE 訪問看護 eラーニングなら！



受講料

月額 **11,000** 円 (税込)

✓ 追加費用なし ✓ ID 数無制限

※ 1 事業所でのご契約に限ります。

※ サテライトも 1 事業所のご契約となります。

※ 複数事業所でのご契約は、100ID 毎 月額 38,500 円 (税込)

※ 初年度は 1 年間解約不可となります。

詳しくは利用規約をご参照ください。



複数事業所契約の方は**最大 2 ヶ月間無料**！ (初回のみ)

※ 無料期間終了後、年間契約が開始となります。

さらに！

助成金を活用すると…

S-QUE 訪問看護 e ラーニングの受講料は
最安値年額 52,800 円 (税込) でご利用いただけます。

参考

人材開発支援助成金 (サブスクリプション・定額制訓練) を
1 年で申請した場合に、受講料の一部が助成されます。

【税込 **132,000 円** (年額) に対して最大 **60%** (**79,200 円**) 助成。】
(月額 11,000 円)

労働局に書類等を提出する際に下記の項目を併せてご提示いただけますと、申請手続きを円滑に進めることが可能です。

● LMS (受講履歴管理) 機能対応！

助成金に必要な項目

- ①【S-QUE 訪問看護 e ラーニング】はインターネットやパソコン / スマートフォンで学習を行う e ラーニングサービスです。
- ②受講者が【S-QUE 訪問看護 e ラーニング】サイトにログインして学習します。
- ③管理者は受講記録、受講履歴を管理できます。
- ④定額受け放題研修 (定額制) サービス

注意事項

- ・法定研修 / 情報公表 / 各種様式集は助成金申請の対象外となります。
- ・支払い方法は口座振替またはクレジット決済のみ、
口座振替の場合は、代金収納代行サービス「ROBOT PAYMENT」の名義口座となるので、
事前に助成金申請窓口へ名義「JCB ロボットペイ」と表示されることをお伝えください。
- ・助成金を受けるにはいくつかの条件があります。
管轄のハローワークまたは労働局に詳細のご確認をお願い致します。
事前に助成金の詳細をご確認ください。
<https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001514282.pdf>

お申し込みはこちら ▶

<https://s-que.net/apply/squekaigo/>



上記の QR コードから
お申し込みください。



お問い合わせ

ヴェクソンインターナショナル株式会社（訪問看護）

フリーダイヤル **0120-128-774**（受付：平日 10:00-17:00）

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4 丁目 6 番地御茶ノ水ソラシティアカデミア 5 階
MAIL : houkan@s-que.net

エスキュー

検索

 **S-QUE**研究会
Training Packages for Nursing Departments

